

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

様式1（小・中）

学校名	小城市立三日月小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>○前年度の重点項目として取り組んだ「あいさつ」については、一昨年度より改善が見られた。今年度も、学校経営方針に基づき取組内容を焦点化し、取組を充実させる。</p> <p>○前年度は「心のアンケート」や「教育相談週間」などを有効に活用し、いじめの早期発見・早期対応に努めることができた。今後も、組織として「心の教育」に取り組んでいく。</p> <p>○学力向上については、校内研究をととして全職員が一丸となり取り組むことができた。今後は課題を明らかにした上で授業改善を行い、家庭学習を定着させる。</p> <p>○今年度も、教育活動の質の向上を図りながら、更なる業務改善、教職員の意識改革等を行い、働き方改革を推進していく。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	<p>ともに なかよく かしこく たくましく</p> <p>～元気！笑顔！三日月サイコー！【ともに誇れる学校】～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>① 安心・安全な教育に取り組むための環境づくりに取り組む</p> <p>② 学校教育目標、学年・学級目標の一貫性を形成させ、学年グループによる協働体制を推進する。</p> <p>③ 確かな学力のための指導法・指導体制の充実を図る</p> <p>④ 教員の資質向上と業務改善とを両立させた、質の高い持続可能な教育活動を推進する。</p> <p>⑤ 特別支援教育の視点をベースにした個への支援と集団支援を融合させる。</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目				主な担当者	
重点取組			具体的取組		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)			
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上 ○授業についてのアンケートで、「わかる」が75%以上	・三日月スタンダードに基づく、全学年で共通した基本的学習習慣と家庭学習を推進する。 ・高学年教科担任制担当教師の専門性を生かした指導、TTによる指導、級外による支援体制などを推進する。	学力向上対策コーディネーター 研究主任	
	○理解する力を高める指導方法の工夫	○4～6年の県学習状況調査で前年度到達度を上回る。	・学校生活の中で、根拠をもとに考える活動を積極的に設定する。		研究主任 研究推進委員 学力向上対策コーディネーター
	○電子黒板や一人1台端末の効果的な活用	○電子黒板やタブレット端末の効果的な活用方法等について職員で情報共有を行う場を年間12回以上設ける。	・各学年の実態に応じた効果的な実践を通して、児童の主体的な学びを推進する。 ・各学級等で実践した内容については校内において紹介しあったり共有をしたりして、積極的に活用していく。		
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケートで、思いやりの項目の肯定的評価が90%以上	・「あいさつ・返事で心ひらき」「はきものそろえで心そろえ」「掃除・後片付けで心みがき」を年間の重点項目として取り組む。 ・善行児童に対しては、きちんと褒めることを全職員で取り組む。	道徳教育推進教師 道徳担当	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○心のアンケートで「学校が楽しい」と回答する児童を90%以上	・Q-Uの結果を踏まえて、学級や個人の現状把握と課題の分析に努め状況に応じた手立てをとる。 ・事案に対する「即報告即日対応」	生徒指導担当 教育相談担当	
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	○生活衛生チェック表の取り組みができていない児童70%以上 ○道路の歩き方や自転車の乗り方について、交通ルールを守っていると答える児童90%以上 ●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	・コロナに関する情報を児童や保護者にも周知し、感染防止対策を継続して行う。 ・育友会と連携し、ヘルメット着用を推進する。	安全指導担当 生活指導担当	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校時間の上限を遵守する。	・教職員の毎月の勤務時間を把握する。定時退勤日を実施する。 ・成績2期制、英語専科、教科担任制などを行い、教師の専門性と質を高め、教職員の心身の安定に努める。	教頭	

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		
○特別支援教育	○個別に支援が必要な児童に対する支援方法の検討、実施、評価	○個に応じた支援を心がけた教員が90%以上	・全職員で対象児童の情報を整理、共有し、支援方法の検討を行う。 ・個別の支援を基盤とした通常学級での支援方法を校内で研修し、共通実践化を図る。 ・児童の将来の自立に向けて、保護者や関係機関と連携し、より良い進路支援を行う。	特別支援教育コーディネーター
◎志を高める教育	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動	◎教師アンケート「学校教育目標を意識した指導」90%以上	・学校教育目標、学年・学級目標の一貫性を形成させ、学年グループによる協働体制を推進する。	教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--